

行政報告

産業・観光

(観光イベント)

今年も9月から10月にかけて町内各地域で沢山の催事が開催されました。

9月27日には恒例となりました「越後湯沢秋桜ハーフマラソン」が開催されました。参加申込者は5,327人、参加者は4,751人と昨年よりも500名余り減少しましたが、例年になく気温が低く走りやすかったことと、黄金色に輝くコシヒカリの稲穂と沿道に植えられたコスモスの景観や、町民皆様の沿道からの声援が参加者から好評をいただきました。前日受付は1,783人と依然として多く、参加者が家族や仲間と前泊し、大会は勿論、秋の湯沢を楽しむという観光の形が定着してまいりました。また、商工会青年部が中心となり、大会前日に開催していただいている「ウェルカムコスモスランナーズ」が越後湯沢駅東口駐車場で開催され、多くのお客様で賑わいました。大会参加者の楽しみの一つとしてお客様に好評を得ていることは、喜ばしい限りであります。今後も安全に配慮した大会運営を心がけ、参加者へのおもてなしに努めるなかで、湯沢町が誇るマラソン大会になることを目指してまいります。

10月10日には、温泉通りを歩行者天国として「新米&地酒まつり」が開催され、首都圏を中心に約1,600人のお客様からご来場いただきました。翌11日には、湯沢中里スキー場を会場に「湯沢中里秋祭り」が開催され、約1,000人のお客様から楽しんでいただきました。

10月18日には、恒例の「こらっしやい湯沢収穫祭」が開催され、約7,000人のお客様から会場に足を運んでいただきました。今年も秋田県湯沢市の皆さんから稲庭うどんの試食販売をしていただき、お客様は本場の味に舌鼓を打っていました。湯沢高原ロープウェイ、ドラゴンドラ、田代ロープウェイの湯沢3大ロープウェイの秋営業も、昨年を上回るお客様をお迎えしています。秋のイベントも多くのお客様から支持されるようになっており、着実に四季を通した観光地域づくりが進んでいることを実感しています。観光諸団体及び関連施設等の皆様の努力に改めて敬意を表します。

12月1日には、恒例のありがとう湯沢感謝の集いをグランドプリンスホテル新高輪に於いて、アルペンスキーワールドカップ湯沢苗場大会のプレスカンファレンスを兼ねて開催いたしました。旅行業界の皆様や日頃お世話になっている皆様に加え、スキー関係やメディア関係のお客様を多数お招きし、今までにない盛大なものとなりました。ワールドカップ開催地としての湯沢町を国内外に強くアピールできたものと考えております。

(スキーシーズン開幕)

今秋は気温が高く降雪が遅れていましたが、11月21日に新潟県内スキー場の先陣をきって、かぐらスキー場でスノーマットによる営業を開始しました。翌週には待望の降雪があり29日にかぐらメインゲレンデもオープンし、雪を待っていた多くのお客様で賑わいました。12月12日には苗場スキー場で「スキーの新潟オープニングイベント」が開催される予定となっており、いよいよ本格的に雪の季節が到来いたします。今年も多くのお客様からお越しいただけるよう期待しているところであります。

(外国人観光客誘致活動)

今年度の外国人観光客誘致事業は主力である台湾、香港、さらには、東南アジア地域やオーストラリアなど、今後急成長が予想される市場を中心に上位越国際観光テーマ地区協議会・新潟県・日本政府観光局(JNTO)と連携し、各国で開催される国際観光展等への出展や、各国報道機関・旅行会社の招請事業に積極的に取り組んでおります。また、アルペンスキーワールドカップの開催によりスキーリゾートとして湯沢町の知名度が高まることは、誘致活動の追い風になるものと期待しています。

(農業の振興)

平成27年産のコシヒカリ一等級比率は、JAしおぞわ管内で11月2日現在、65.8%と厳しい結果となりました。一等級比率95%以上を目標に、県・町・農業者一丸となって取り組んでまいりましたが、8月中旬の台風による過乾燥、お盆以降の登熟期の日照不足等により、目標を達成することはかないませんでした。厳しい気象状況が重なったとはいえ、残念な結果と受け止めています。県では新しい純成品種として「新之助」を発表し、厳しい栽培条件を課してブランド化を進める計画ですが、食味・品質ともに負けないコシヒカリの栽培体制を関係者一同で確立してまいります。

農家と温泉旅館との直接取引による地元産コシヒカリの食事や、お土産として提供する地産地消の取り組みについては、平成18年開始以来10年を経過しました。地元産の美味しいお米を地元で消費していただき、地元産コシヒカリのファンを一人でも多く獲得することで、農家の経営安定化とお客様の満足度向上につながればと考えています。

福祉・健康

(認知症高齢者 SOS 探索訓練)

11月9日、今年で3回目となる「認知症高齢者 SOS 探索訓練」を町民、警察、福祉関係者など約60名の方から参加をいただき実施しました。高齢者の女

性が行方不明になり、家族が町内会長へ連絡し、社会福祉協議会、役場、警察につなぐという設定で行いました。今後も継続して認知症の方でも住み慣れた家や地域で暮らし続けられるよう、取り組んでまいります。

また、11月3日、ふれあい福祉健康フェスティバルが開催され、約600名のお客様からご来場いただきました。

(湯の街ゆざわの健康調査)

今年度から町と新潟大学が協力して行っている「湯の街ゆざわの健康調査」で「生活習慣に関する」アンケートが行われ、おおむね9月中にアンケートが回収され、回収率は60%弱という結果でした。また、アンケートにお答えいただいた方への個別の通知が、来年1月から順次発送される予定です。

(生活習慣病予防)

がん予防について、10月の「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」の取組みとして、早期発見を促すための検診PR記事を広報紙に掲載しました。また、湯沢町は生活習慣病の中でも腎臓路生殖器の医療費が高くなっています。こうしたCKD（慢性腎臓病）の予防対策として、減塩を普及啓発し、CKD予防教室を開催する事業を実施しています。11月に行われたふれあい福祉健康フェスティバルではコーナーを設け、CKD予防の普及啓発活動を行いました。そして、今年度も食推と協働で各家庭に出向き、「みそ汁」の塩分測定を行い、減塩や野菜と果物の摂取量を増加させる取組みを行っています。

社会基盤等

(主要公共事業)

道路関係では、東山線道路改良工事と戸沢3号線改良工事が完成するとともに、歩道用ロータリ除雪車は11月2日に納車されました。

維持管理関連事業では、舗装修繕、消雪パイプフレッシュ事業はほぼ完了し、消雪パイプの点検及び消雪施設の小修繕を進めています。除雪契約も締結し、冬季に向けて除雪体制を整備してまいります。

公園事業では、中央公園西コートの改修工事が完了しました。

三俣地区の下水道事業は管渠埋設工事が完了し、舗装本復旧を進めています。浄化センター建設も順調に進んでおり、水道事業の電気計装設備更新等工事は完了しました。

(リフォーム事業)

住宅リフォームの受付件数は11月末現在44件で総事業費4,632万9千円、

補助金額で 395 万 3 千円となりました。そのうち、補助金額が限度額 10 万円の件数は 31 件となっています。

事業用リフォームは 12 件の申請があり、総事業費は 1,065 万 6 千円、補助金額は 109 万円となっています。

(新ごみ処理施設の進捗状況)

平成 27 年 2 月 3 日の二市一町の基本合意締結により、新ごみ処理施設の建設に向けて具体的な作業に着手しました。4 月に南魚沼市の廃棄物対策課内に新ごみ処理建設準備係が設置されて半年余り、ようやく建設予定地の公券を 11 月 1 日から開始したところであります。迷惑施設の建設ではなく、資源循環型の社会形成という視点から、地元住民からも広く関心を持っていただき、建設中や建設後の施設運営にも地元から深く関わっていただくという思いから、建設地公券という形式としました。11 月末現在 10 カ所程度から問い合わせがあり、一定程度の理解はいただいているものと感じております。

教育・スポーツ・芸術等

(統合文教施設整備)

11 月 30 日をもって認定こども園棟が完成しました。平成 24 年 9 月の契約締結より 3 年、湯沢学園は全ての工事が竣工し、12 月 5 日に町政施行 60 周年記念式典にあわせ湯沢学園の竣工式を執り行いました。

(学校事業等)

湯沢学園体育祭が 9 月 5 日に開催されました。子ども達はこの日のために自分たちで応援等を企画し、小中の垣根を越えたすばらしい体育祭となりました。また、今回からグラウンドの内側に入っての写真撮影を許可したことから元気に走る子ども達のベストショットが撮影できたものと思います。9 月 16 日には南魚沼市塩沢地区の小学校親善大会に参加し、湯沢小学校の 5・6 年生が大活躍しました。10 月 31 日には第 3 回教育フェスティバルが 3 部構成として開催されました。第 1 部は学校運営協議会主催の講演会・説明会、第 2 部は小学生による学習発表会、第 3 部として中学生による合唱コンクールが行われ、子ども達は日ごろの練習の成果をいかに発揮いたしました。

「学校の森」整備は 11 月 6 日に地域の皆様からもご協力いただき「せせらぎの森」内にピオトープを作りました。今後とも子ども達の憩いの場を地域の皆様の協力をいただきながら整備して参りたいと考えています。

児童クラブは 11 月 30 日から新設された認定こども園内の専用室で運営を開始しました。12 月 1 日から湯沢学園完成に伴いバス路線が学園内を通るコースに変更されるとともに、徒歩での登校も校門を通る正式ルートを利用していま

す。

(保育園等)

各保育園では10月1日から最後の運動会が元気に、にぎやかに開催されました。また、来年4月開園する認定こども園の説明会を各保育園で開催し、多くの保護者の皆様から参加していただきご意見を頂戴いたしました。

(スポーツ事業)

地区運動会は9月20日に土樽地区、9月23日には神立・湯沢地区で多くの皆様の参加を頂き開催されました。また三俣・三国地区は今年度よりスポーツ大会として新たに三俣が9月21日、三国は10月4日に開催され、普段の運動不足解消と地域の結束力を高めていました。

10月4日は町民ゲートボール大会が開催されました、老若男女それぞれのチームが熱戦を繰り広げました。また、10月14日には町民ゴルフ大会が湯沢パークゴルフ場で140名を超える多くの皆様の参加を頂き開催されました。

(芸術関連事業)

9月19日から28日まで、湯沢町公民館において県立近代美術館巡回ミュージアム及び童画展20周年記念展示会が開催されました。近代美術館からはピカソ等の作家の美術品を展示して頂き、童画はこれまでの大賞作品を展示し、多くの皆様から入館して頂きました。10月4日には町民の皆さんの手作りによる「ふれあいコンサート」が湯沢町公民館で開催され、多くの方に聴いていただきました。

11月1日～3日まで湯沢町総合文化祭が開催され、町民の皆さんの力作が展示されたのを始め、絵付け教室や茶会等の体験プログラムにも多くの方に参加していただきました。この総合文化祭には高半ホテル・関口ココ切り絵美術館様からも協賛を頂き無料で入館を実施いたしました。

11月8日には総合文化祭の一環として湯沢町芸能発表会が開催され、演奏・演技を、450人を超える皆様からご観覧頂きました。

その他の主な行事等

(秋季消防演習)

9月13日(日)に旧湯沢小学校グラウンドで秋季消防演習を実施しました。消防団員224名が参加し、町民の安心安全を守るため規律訓練や放水訓練などを行いました。

(交通事故防止運動等)

9月24日(木)に交通指導所を国道17号線脇に開設しました。南魚沼警察署、南魚沼交通安全協会湯沢支部、湯沢町交通指導員の協力のもと、ドライバーに交通安全の啓発品を配布し、交通事故防止を呼びかけました。

また、10月22日(木)に湯沢カルチャーセンターで高齢者向けの交通安全講習会を開催しました。講習会では、南魚沼警察署交通課より安全運転の心構えについて講話をいただいたほか、六日町自動車学校が運転技能自動評価システムを使った路上講習を実施し、安全運転のためのアドバイスなどを行いました。

(人権啓発の推進)

新潟県から受託した「地域人権啓発活動活性化事業」の一環として、講師に弁護士^{オキタ}の菊地幸夫さんを招き、10月24日に湯沢町公民館において人権講演会を開催しました。約70名の方から参加いただき、アンケートでは多くの方から人権への関心・理解が深まったとの感想をいただきました。

(自殺予防への取り組み)

11月14日、湯沢町公民館を会場に新潟いのちの電話と湯沢町の共催により、講演会及び津軽三味線演奏とトークを内容とした自殺予防キャンペーンを開催しました。会場には149名の参加者を迎え、こころの健康づくりに関する講演と、プロとして活躍している三味線プレイヤー^{たけふ}史佳さんと母の高橋竹青^{たけい}さんの生演奏をお楽しみいただきました。トークでは三味線プレイヤー史佳さんから、「うつ」を経験しながらも母の支えと音楽を糧に生きる意味を取り戻していった過程のお話がされ、参加の皆さまから、また「開催して欲しい」など多くの良い評価をいただきました。

(個人住民税の課税戻り)

個人住民税の課税戻りに関する還付及び返還処理につきましては、11月末現在、前年度から引き続き累計で、対象者2,548名のうち2,423名の方に合計4,102万8,000円の還付・返還が終了しています。

また、今年度から、町外者への個人住民税の課税については、課税対象者の所得調査を行ってから課税することとしたため、納税通知書等の発送は10月に行いました。

(緊急告知ラジオ不感地帯解消事業)

町の補助(1,999万800円)により株式会社FM雪国が浅貝地区に設置を進めていたFMラジオの中継所が完成し、11月4日より本放送が開始されました。これにより浅貝地区での防災用緊急告知ラジオが受信可能となりました。

(マイナンバー通知カードの送付)

10月26日から湯沢町においてもマイナンバー通知カードの郵送が開始されました。湯沢町では3,524世帯、8,149人の方に郵送されましたが、11月末現在、146世帯、171人の方の通知カードが配達できずに役場で保管されています。

今後は、役場窓口での受け取り案内を普通郵便で送付するなど、できるだけ多くの方が通知カードを受け取れるように取り組んでまいります。

以上、行政報告を申し上げます。